

スライドカンファレンス SC-2

婦人科(子宮体部)

東京慈恵会医科大学葛飾医療センター病院病理部

梅澤 敬

症例：50代前半，女性，0経妊0経産，1年前閉経。

主訴：不正性器出血。

家族歴；特記事項無し。

既往歴：10年前右卵巣摘出術。病理診断は成熟嚢胞奇形腫。

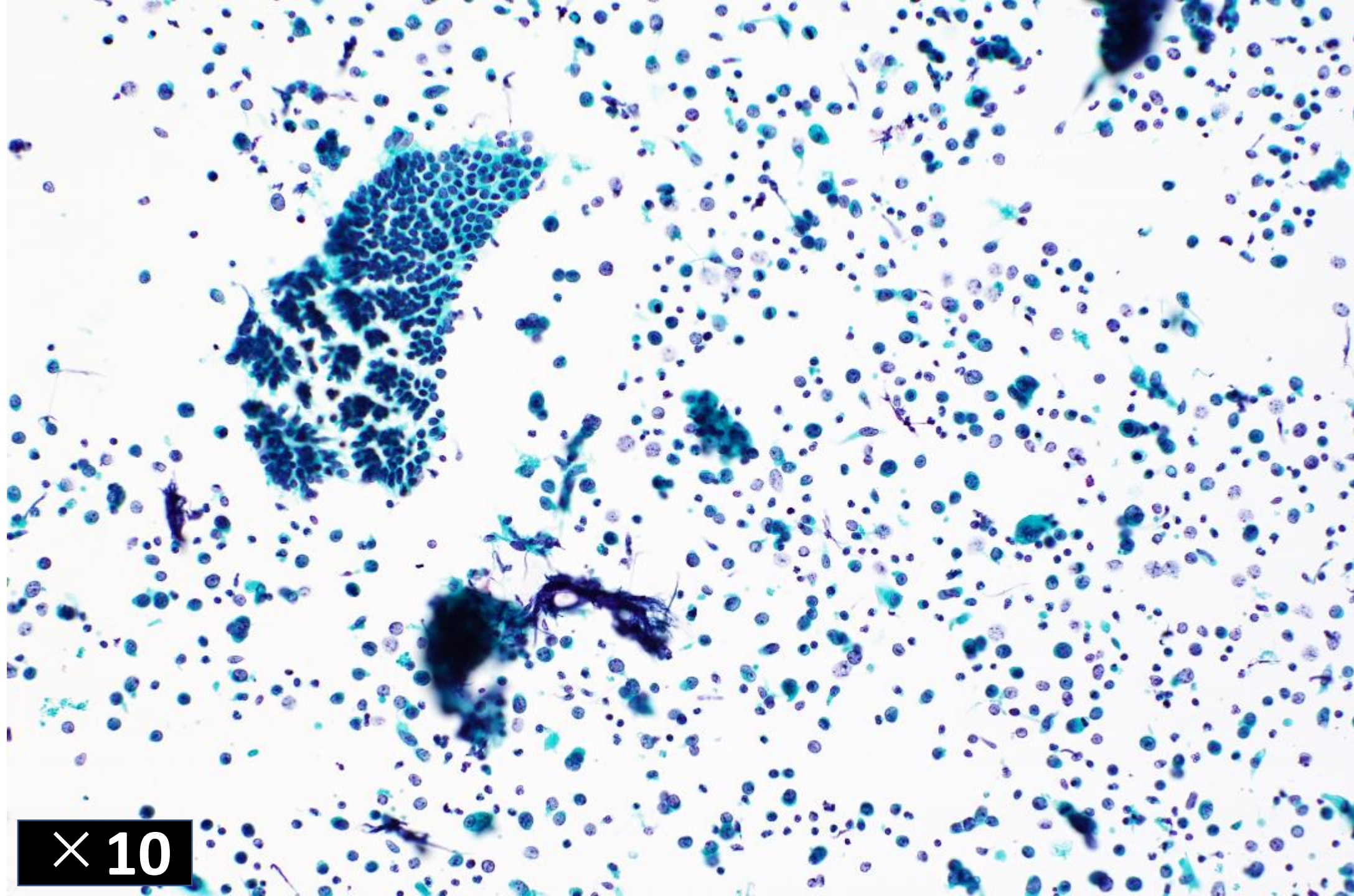
臨床所見：他院にて子宮内膜細胞診疑陽性を指摘され精査目的。MRIでは子宮体部後壁に内膜から筋層内に浸潤する腫瘤を指摘。

採取器具：エンドサイト。

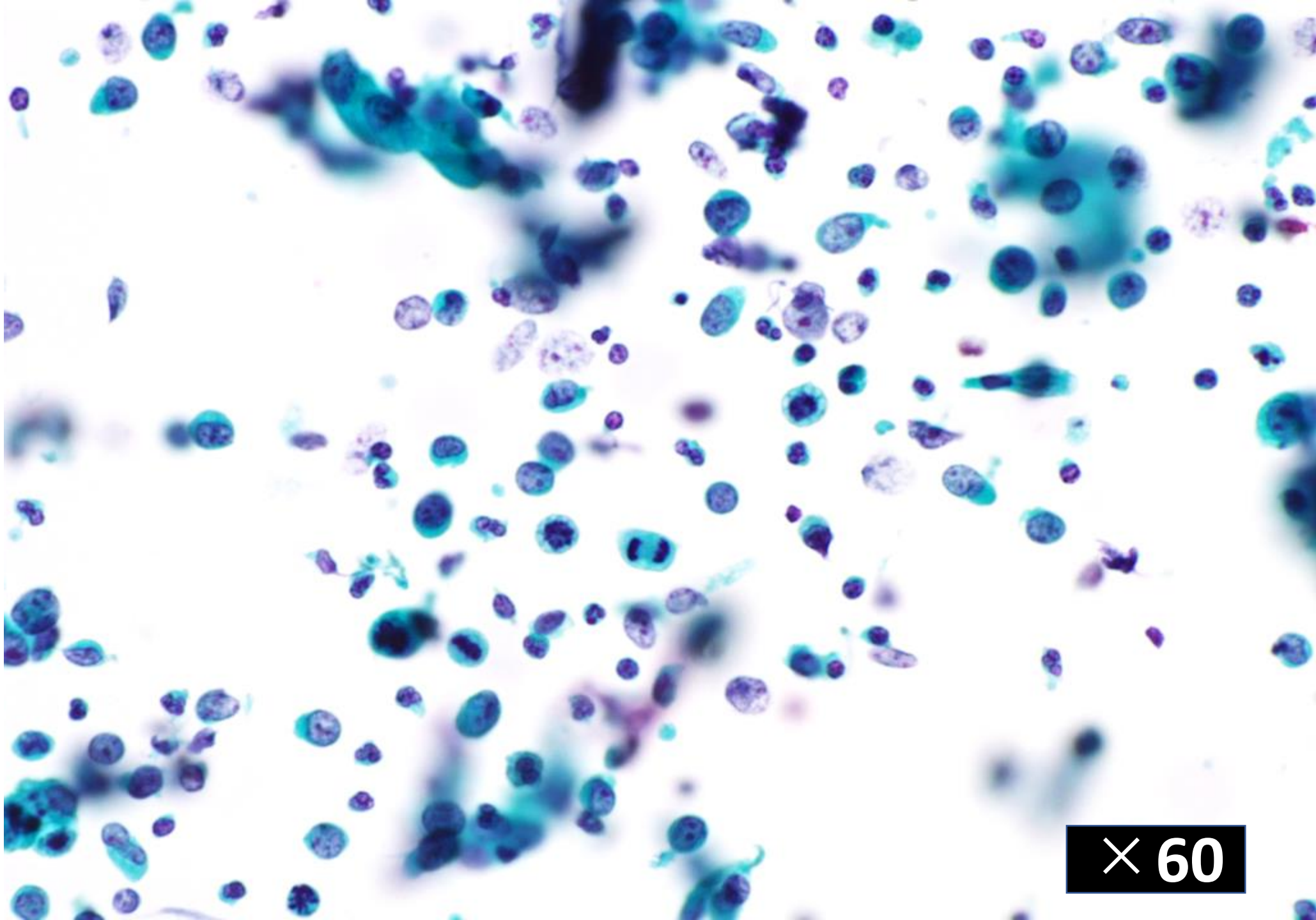
標本の種類：液状化検体細胞診法(BD CytoRich™法)。

標本作製法：密度勾配を用いない遠心沈降法。

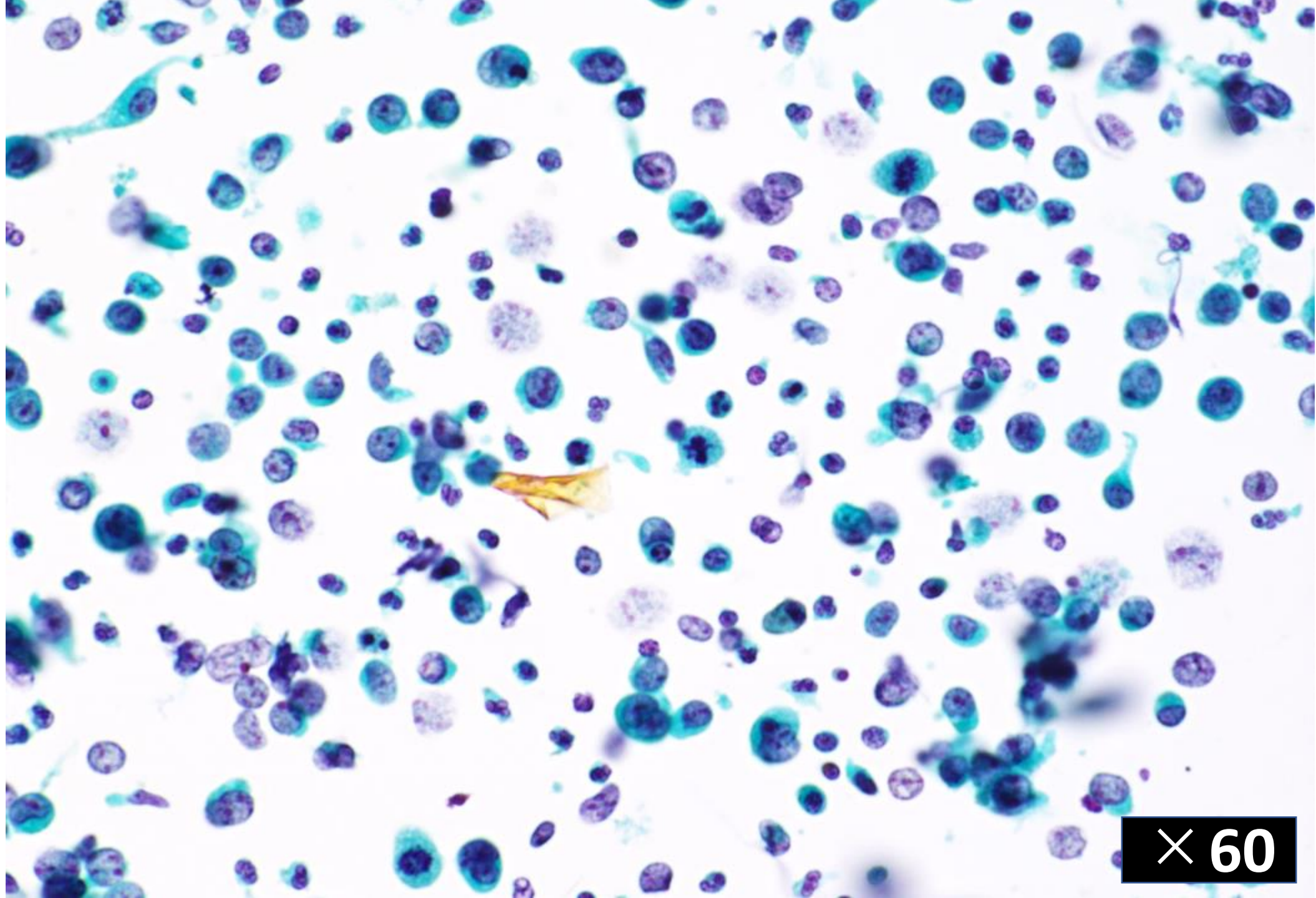
染色：パパニコロウ染色。



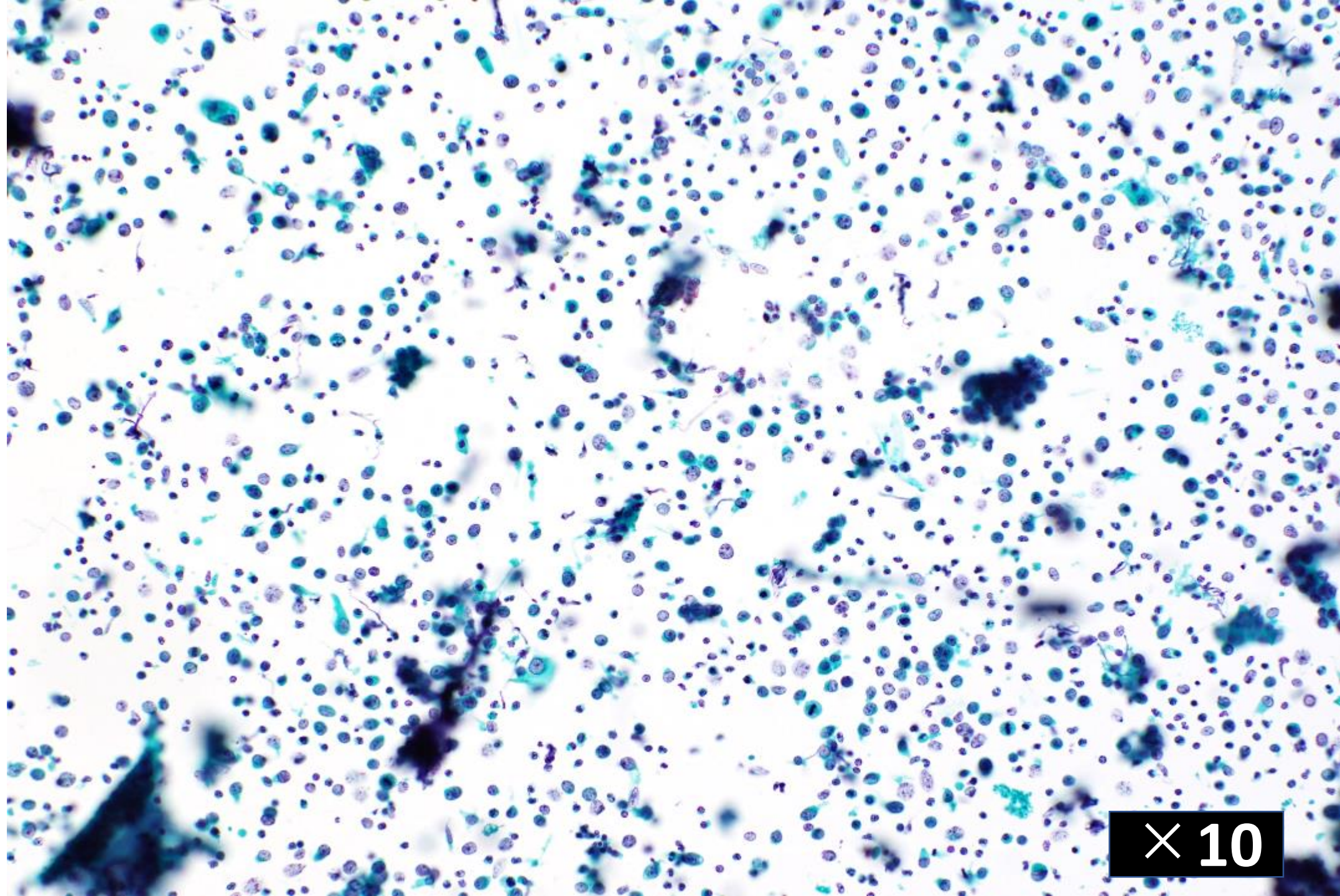
× 10



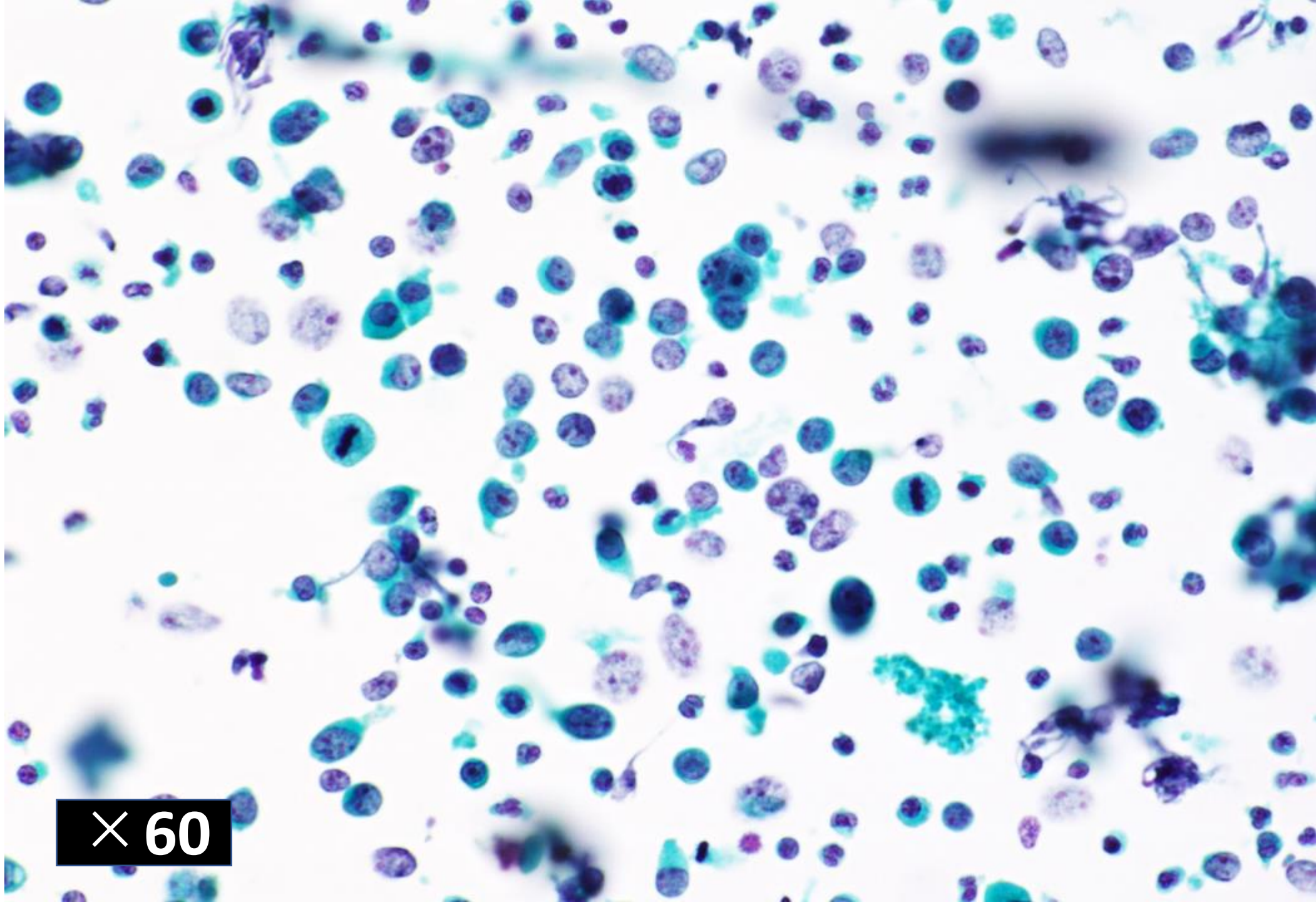
× 60



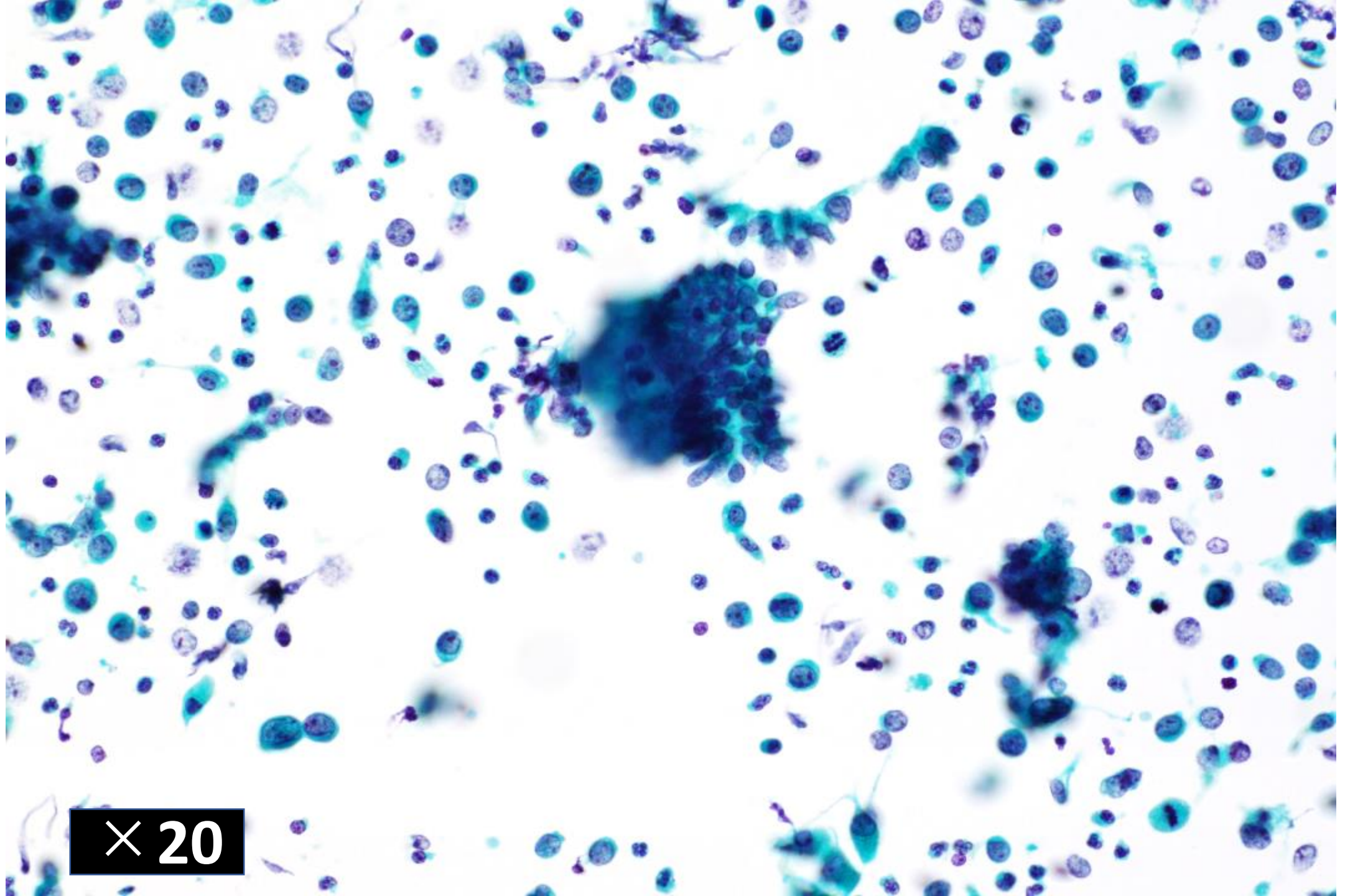
× 60



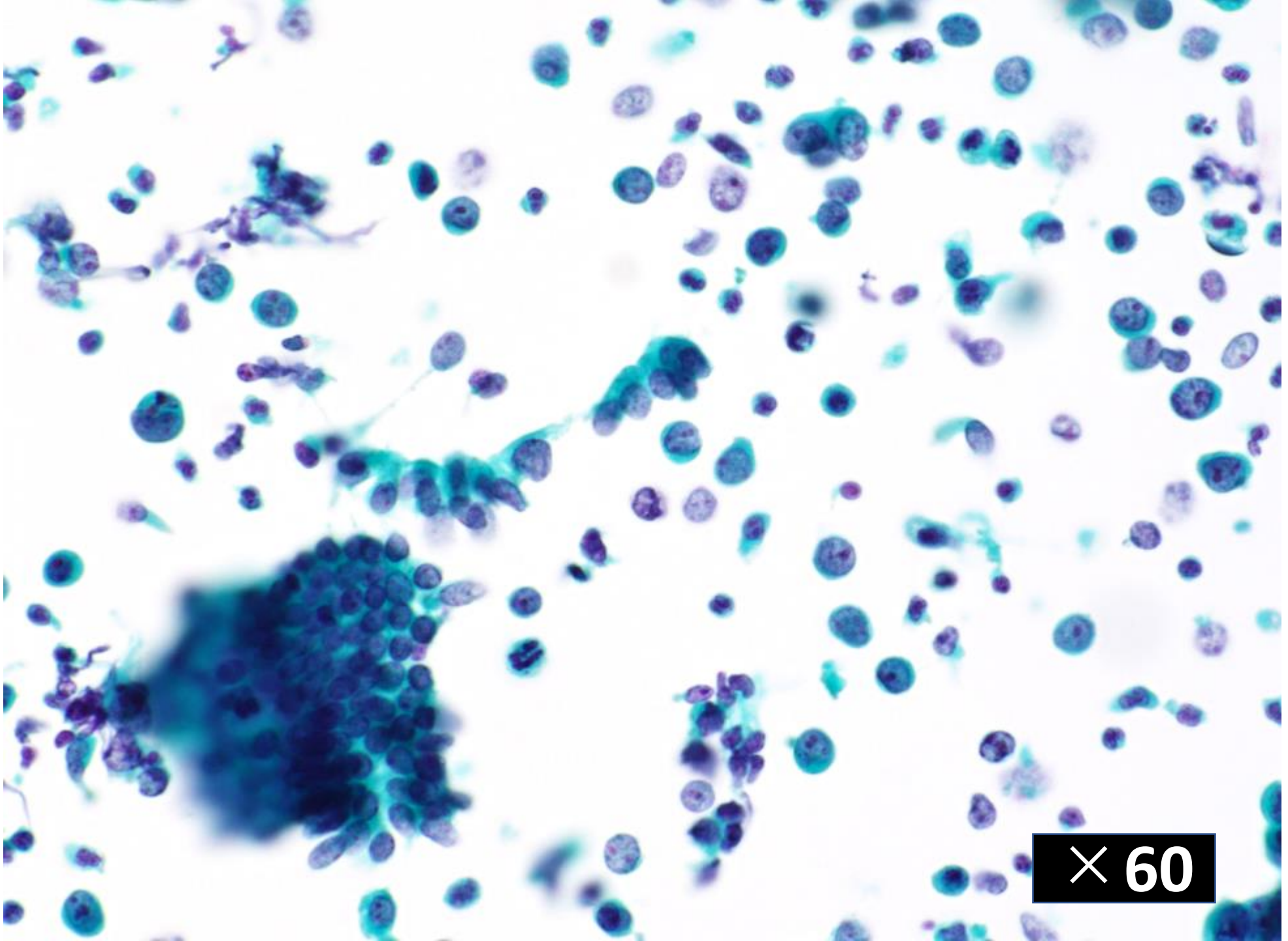
× 10



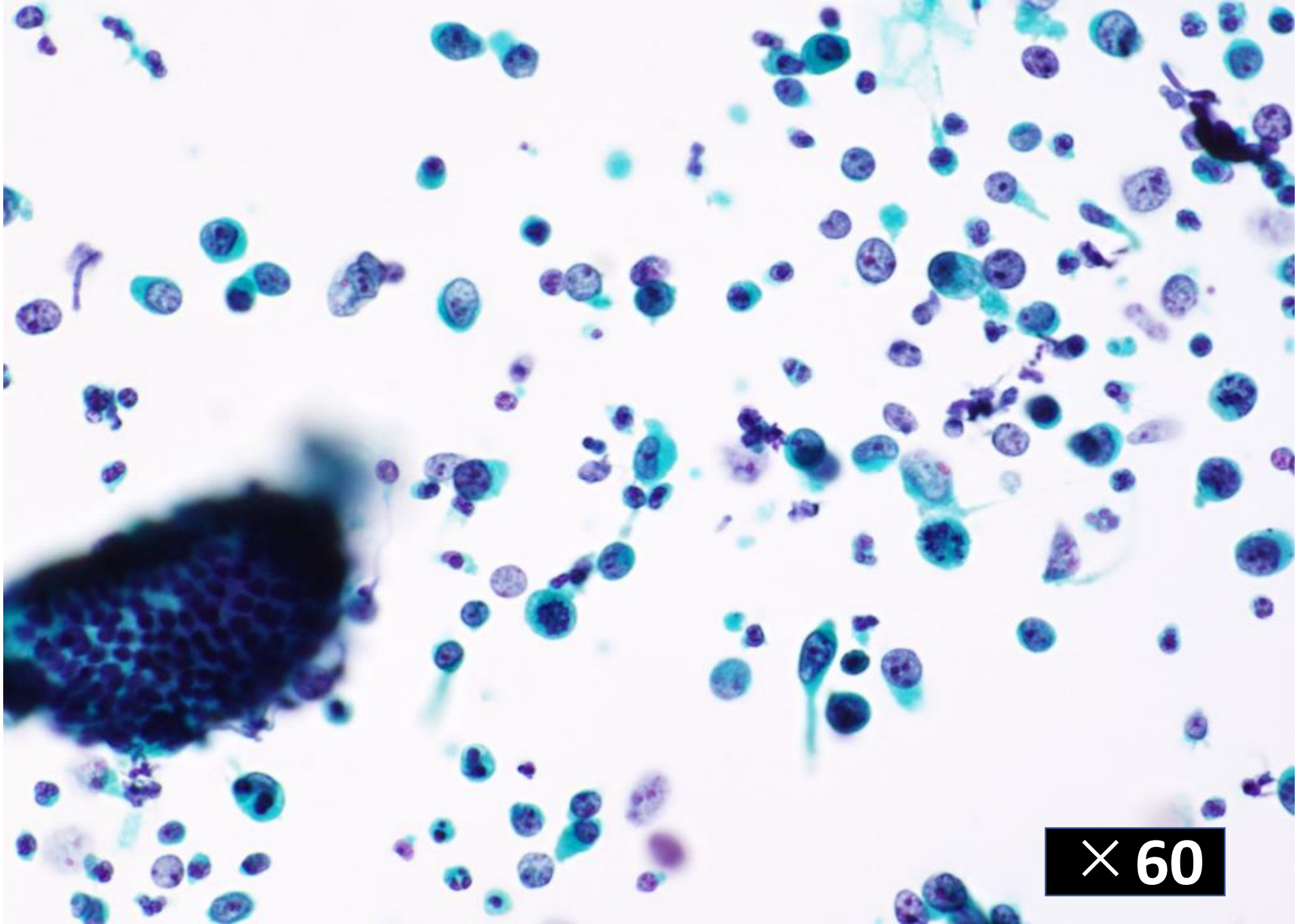
× 60



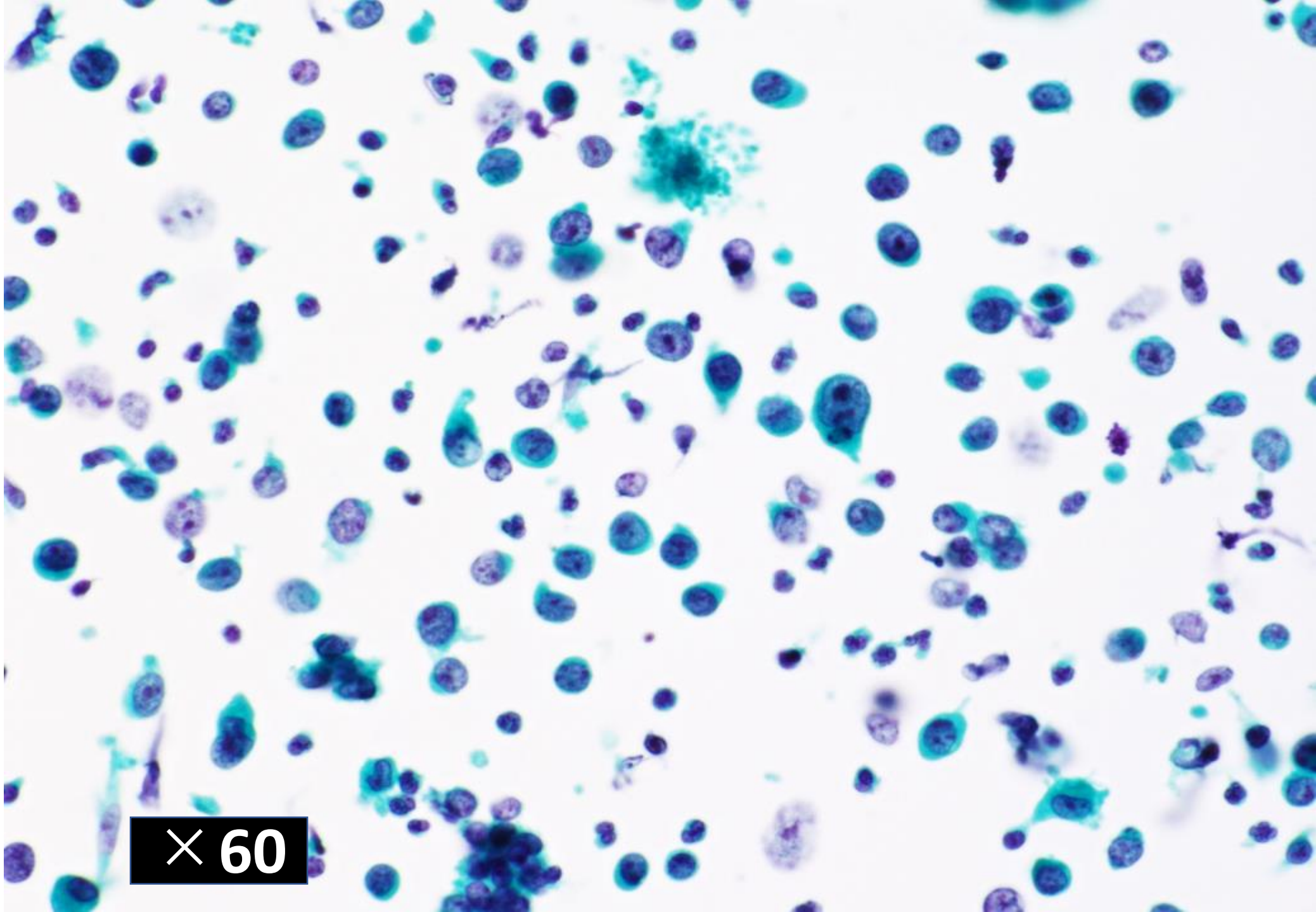
× 20



× 60



× 60



x 60

最も考えられるものは？

1. 高異型度子宮内膜間質肉腫
2. 癌肉腫
3. 高異型度神経内分泌癌
4. 漿液性癌
5. 子宮留膿症